

特命助成

「ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業

遊技業界と協働しながら、パチンコ・パチスロへの依存(のめり込み)問題の啓発、対策に取り組む

全日本社会貢献団体機構が独自に重要なテーマとして指定し、助成している特命助成「ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援事業」を展開している認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク、西村直之代表理事からの1年間の活動報告です。

NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク(以下RSN)は、日本で唯一のぱちんこ依存問題を専門とする相談機関である。2006年に全日本遊技事業協同組合連合会の支援によって発足して10年を経た。現在は、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の支援、会費、有志の方々の寄付金によって、電話相談、遊技業界への問題啓発や研修、研究協力などの事業を安定的に継続できるようになっている。非営利団体として時代や状況に合わせた問題解決支援の提供を継続していくことが、私たちNPO法人の使命であると考えている。

年間約3千件の相談に対応

電話相談は専用回線を4回線設置し、トレーニングを受けた3名の相談員(常勤2名、非常勤1名)が相談にあっている。相談者は、匿名で相談をすることができ、相談料は無料。相談日・相談時間は平日午前10時から午後4時までとなっている。電話相談サービスの広報の主な手段として、啓発・告知用ポスターをパチンコホールの協力のもとホール内に貼付してもらう方法をとっている。

対応にあたる常勤相談員2名は、スーパーバイズや

事例検討により、情報の共有化と相談技術の底上げを図っている。

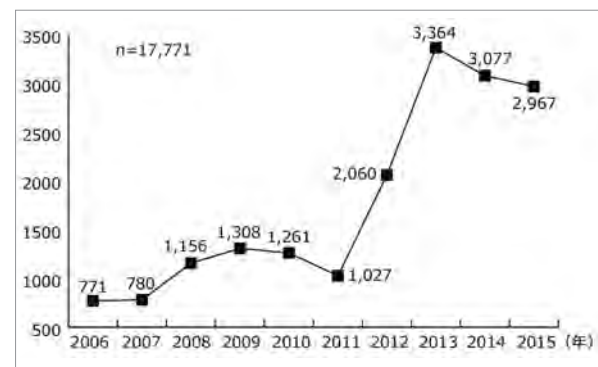
なお、2015年8月より、東京の全国遊技機商業協同組合連合会(以下、全商協)事務局内にリカバリーサポート・ネットワーク支援室(以下、全商協RSN支援室)が開設され、依存問題以外の電話(意見、不正相談、ホールなどへの苦情など)は全商協RSN支援室の相談員が対応している。

2015年1月1日から同年12月31日までの相談件数は、2,967件であった。開設以来の総相談件数は、17,771件となった。月平均相談件数は、247件(2014年256件)であった。依存問題の啓発に対する遊技業界の意識は高まってきており、多様な啓発方法に独自の工夫と協力を行うホールも増えている。現在、遊技参加者が自分で状態をチェックできる自己評価用のスマートフォン用アプリの配布に向けて、準備を進めている。2015年度の電話相談の概要については、電話相談事業報告書を作成し、配布(2016年4月)をした。2015年度報告書は、印刷版に加えて一般社団法人信頼の森の協力による電子書籍出版社CPE出版から電子書籍版にて配信している。



全国のパチンコホールに貼ってもらうよう依頼している「啓発・告知用ポスター」

●年別相談件数の推移



総件数および月別相談件数

電話相談以外の取り組み

RSNは、電話相談事業以外にもさまざまな支援・連携事業を行っている。整理すると①厚生労働科学研究協力 ②ワンダーポート企画への協力 ③「依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会」との連携 ④龍谷大学矯正・保護総合センターとの連携 ⑤学会・企業研修講師への協力 ⑥警察庁への事業概要説明 ⑦公益財団法人 日工組社会安全研究財団「パチンコ依存問題研究会」研究協力 ⑧その他ギャンブル問題関連研究・調査への協力 ⑨他の依存問題回復支援活動との連携協力などに取り組んでいる。このほか、遊技関連団体パチンコ・パチスロ産業21世紀会の依存問題対策自主ガイドラインの啓発用DVD作成への協力、これら対策の広報用ホームページの管理、ホールおよびホール関連団体の研修、従業員教育プログラムの構築や実施への協力を行っている。また、

公益財団法人日工組社会安全研究財団「パチンコ依存問題研究会」においては、パチンコ・パチスロ障害尺度の基礎的な骨格が出来上がり、論文掲載が受理されている。現在、この研究から複数の論文が投稿準備に入っている。研究会の事業として、海外書籍のテキストの翻訳作業を担当し、出版に向けて準備もしている。

RSNの活動は、ニューズレター(毎月1回)を通して報告を行い、現在送付先は約1,100カ所に上っている。ホームページへの総アクセス数は約49万件となっている。一年間のホームページアクセス数は、約10万件となっている。RSN啓発ポスターは、年間約13万枚を配布している。配布にあたっては、全日遊連広報誌「遊報」への同封の協力を得ている。現在さらに、パチンコホールなどの遊技従事者向けの依存問題の啓発用ポスターの作成準備を進めている。



全商協RSN支援室

助成団体: 認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク <http://rsn-sakura.jp>



AJOSCの助成によって、純粋に「非営利」の活動を続け、微力ながらも私たちの活動が社会に役立てることができていることに感謝しています。先駆的な事業であるだけに、理解が広がりにくくさまざまな困難もありますが、日本で唯一のぱちんこ依存問題に特化した民間相談機関としてのサービスをこれからもより一層高めていくように取り組んでいきます。

NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク
代表理事 西村直之さん